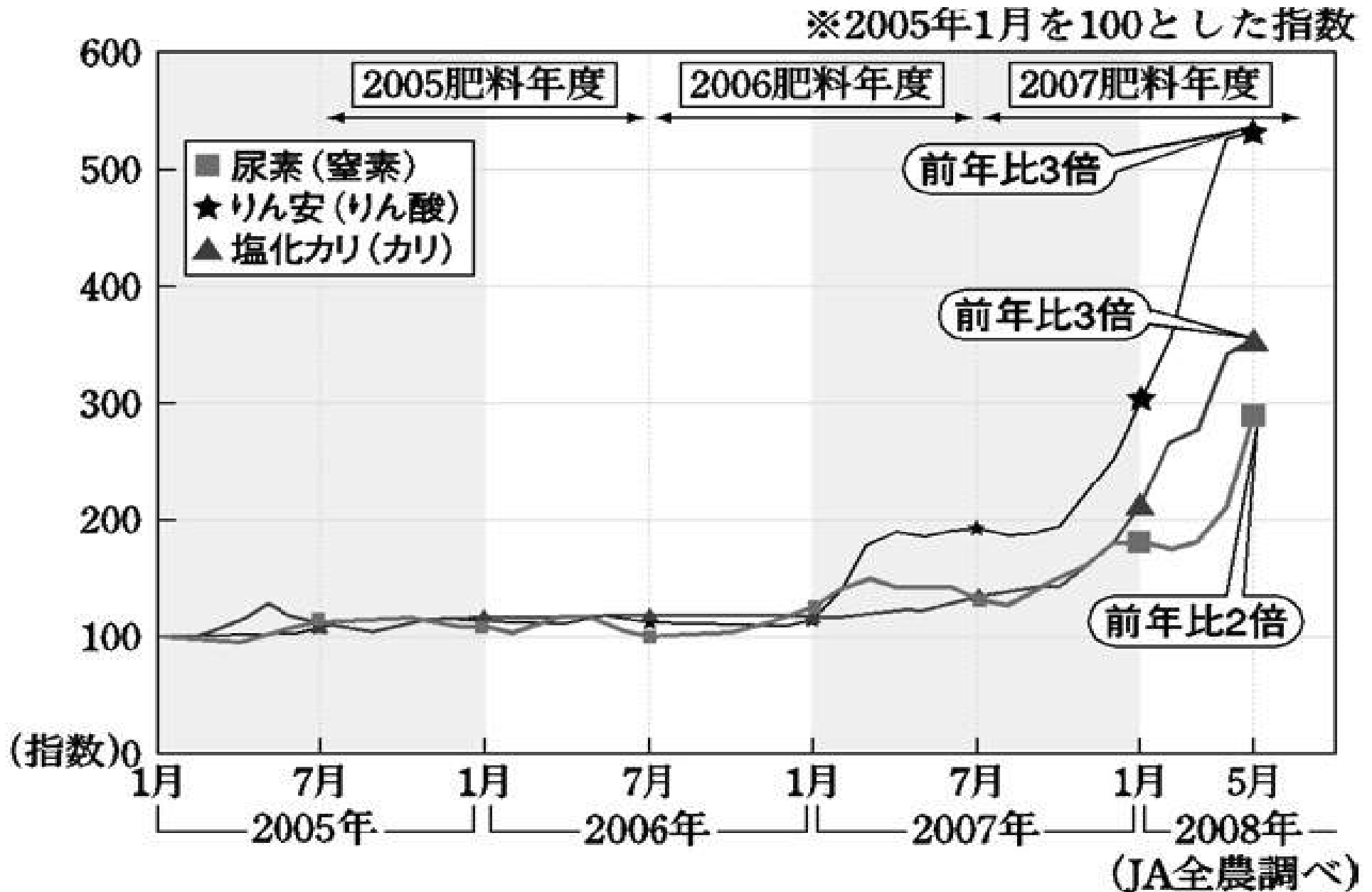


化学肥料に頼らない農業の可能性

篠原 信

高騰する化学肥料



化学肥料の輸出制限



日本貿易振興機構 (ジェトロ)

検索 | ログイン | 会員登録

- ホーム
- ジェトロのビジネス情報
- 引き合い・展示会検索
- ニュース・イベント
- サポート＆サービス
- ジェトロについて

HOME > ジェトロのビジネス情報 > 国・地域別情報 > アジア > 中国 > 世界のビジネスニュース(通商情報) > 尿素など一部化学肥料の特別輸出関税引き上げ

- 中国
- 世界のビジネスニュース(通商情報)
- イベント情報
- 基礎データ
- 貿易と規制
- 投資制度
- 統計
- 貿易投資相談(Q&A)
- 調査レポート
- 新聞レポート
- ビジネスライブツアーおすすめ資料

中国

記事サマリー

尿素など一部化学肥料の特別輸出関税引き上げ(中国)

2008年09月22日 北京発

固態肥料と合成アンモニアの特別輸出関税が9月1日から12月31日まで100%に引き上げられた。2008年4月20日から6月末まで、化学肥料の品目に対し100%の特別輸出関税が追加徴収されているが、固態肥料、合成アンモニア以外の品目の特別輸出関税も11月末まで延長された。

通商情報 4052654296200

- アジア
- ASEAN
- インド
- インドネシア
- 韓国
- シンガポール
- スリランカ
- タイ
- 台湾
- 中国
- パングラディシュ
- パキスタン
- フィリピン
- ベトナム
- 香港
- マレーシア
- シンガポール

記事全文の表示 (閲覧されている方)

その他の記事一覧

- 世界の経済・経団連誌(2008年10-12月)(中国,北アジア) 2008年10月01日
- 国産分産で初の省エネモデル-事務所を築造へ(中国) 2008年09月20日
- マルチブランド戦略でシェア拡大狙う-ユニリーバの中国戦略(2)- (中国) 2008年09月20日
- 自衛に投資最大の生産拠点を建設-ユニリーバの中国戦略(1)- (中国) 2008年09月25日
- 07年の対外直接投資は24%増(中国) 2008年09月24日
- 家電販売額増の上昇率鈍化-08年8月は5.3%に低下-(中国) 2008年09月23日
- 輸入関税サポートシステムを構築-貿易競争力向上のための輸入促進策を講ずる-(中国) 2008年09月18日
- 人民元建て貸出金の基準金利引き下げ(中国) 2008年09月17日

おすすめの情報

日中省エネ・環境協力
シリマが総協賛中

模倣品調査を
支援します!!

中国の最新情報がわかる中国新聞

中国の
中国ビジネスを拡大
ジェトロがサポートします

ジェトロの本

「アジア日本企業の新展開-中国・韓国・台湾・香港編-2007年度版」

「アジア日本企業の新展開-中国・韓国・台湾・香港編-2007年度版」

「中国の最新情報がわかる中国新聞」

「中国の最新情報がわかる中国新聞」

リン肥料の入手困難



[トップ](#) > [経済](#) > [化学肥料価格高騰、食糧生産量減少の見込み](#)

[経済](#)

[TOP](#) | [資源エネルギー](#) | [石油ニュース](#) | [メタル金属](#) | [エネルギー](#) | [リサーチ](#)

化学肥料価格高騰、食糧生産量減少の見込み

[| トラックバック\(0\) |](#)

8月18日、中国全国農業・化学肥料サービスセンターの潘兵博士によると、「化学肥料の価格高騰などが原因で、秋季食糧生産量は減少する可能性がある」とコメントした。

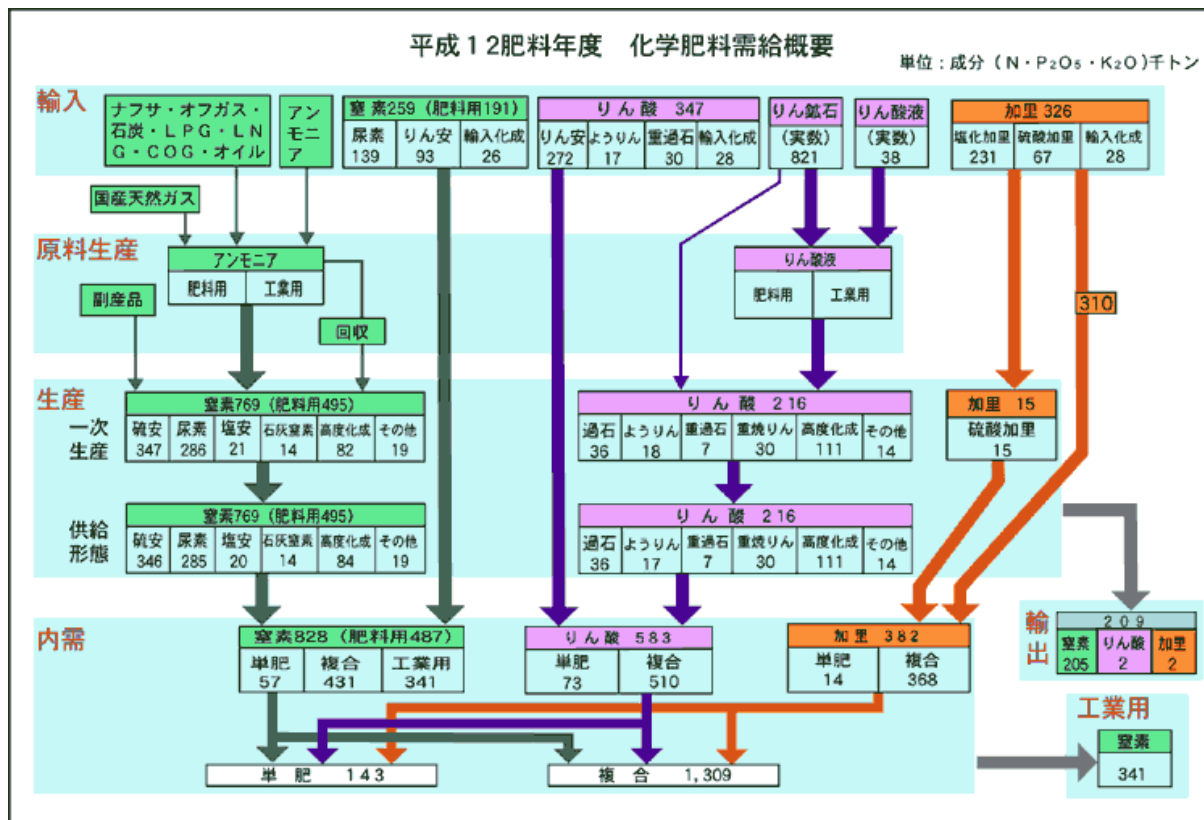
2007年より、リン酸肥料、カリ肥料、窒素肥料など化学肥料価格が大幅に上昇している。価格の高騰により、農民の多くが化学肥料の買い控えを起し、化学肥料の使用量を削減した。このため、食糧生産量の減産に影響するとの見方が示された。

中国南方10省・市におけるおよそ50カ所の化学肥料販売所の統計によれば、2008年上半期のリン酸肥料・カリ肥料・複合肥料販売量は前年同期比30%—50%減少となった。

化学肥料の使用量が三分の一削減された場合、食糧生産量は10%ほど減少するという。更に、リン酸肥料・カリ肥料などの使用量減少により、土壌品質も低下し、来年の作物生産量にも影響を及ぼす見込みという。



国内で化学肥料145万トンを使用(平成12年)



農業に投入されるエネルギーのうち、化学肥料に13.8%、機械の製造に50%使用される
 参考:化学肥料の合成には、以下のエネルギーが必要(1kgあたり)

- 窒素肥料:アンモニア 8,362kcal
- リン肥料:リン鉱石 約1000kcal
- 第2リン酸アンモニウム 約7000kcal
- カリ肥料:塩化カリウム 約1000kcal
- 溶解採取法 約4000kcal

エネルギー問題は化学肥料の高騰につながる

現代農業は石油を浪費

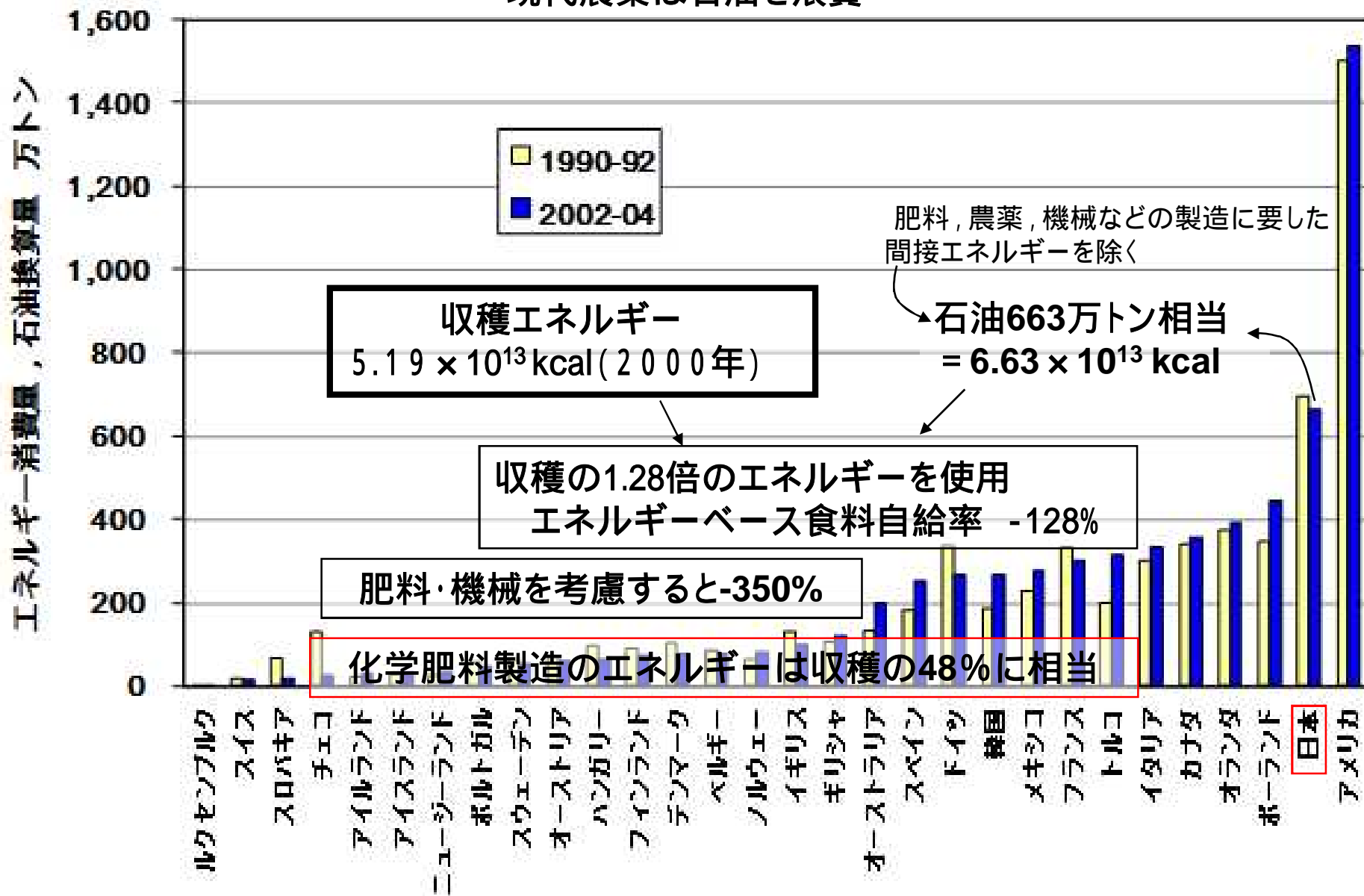


図2 OECD国の農業における直接エネルギー消費量の変化 (OECD, 2008 から作図)

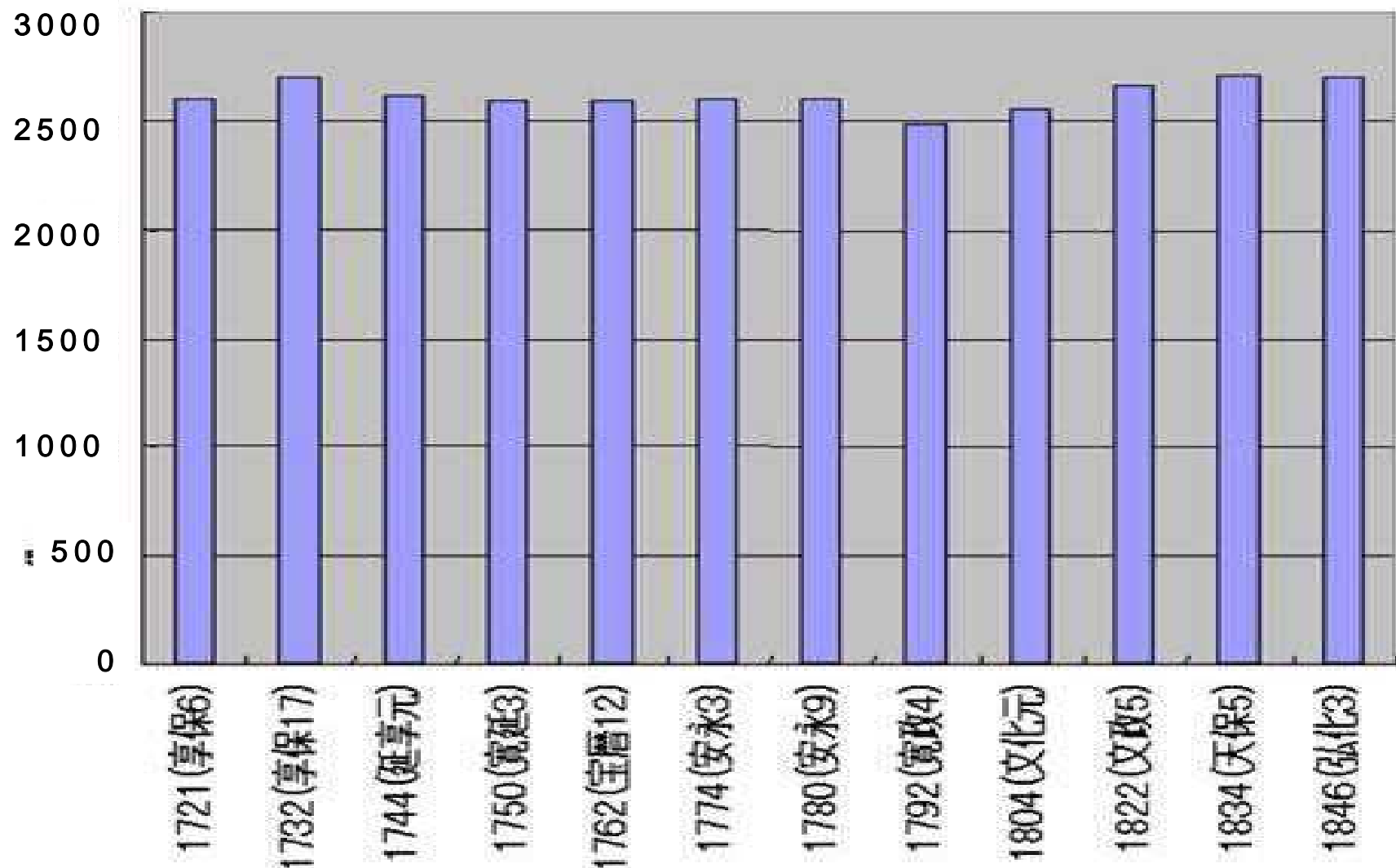
「食と農の総合情報センター ルーラル図書館 環境保全型農業レポート > No.119 日本農業のエネルギー効率は先進国で最低クラス」より



化学肥料に頼らなかったら？
→30～40億人しか養えない

* 現在の世界人口は67億人

化学肥料がなければ
世界は半分しか養えない



江戸時代 1 2 5 年間の人口推移

「近世日本の人口構造」 関根直太郎

有機質肥料を使いこなしても日本は3000万人程度しか養えない

国内の有機肥料だけではダメなのか？

国内の有機質肥料の流通量 582万トン(平成11年)
量は化学肥料の4倍(注:有機肥料は濃度が低い)

家畜糞尿・人糞尿・・・多くが輸入飼料・輸入食料起源
→輸入が止まれば激減

刈敷・草木灰で栽培・・・耕地の10倍の面積が必要
日本の耕地 472万ヘクタール
日本の国土3778万ヘクタール
→日本の山林を使い尽くしても不足

国内の有機質資源だけでは全国民を養う肥料はまかなえない

まとめ

- 現在国内であふれている有機肥料の多くは輸入飼料、輸入食糧が起源(実は有機農業も海外に依存している)
- 全人口を養うには海外から食糧か肥料を輸入する必要がある
- 日本は国土が狭く、国内で産出する有機肥料だけでは肥料が足りない
- 化学肥料で不足分を補うが、それ以外はなるべく有機肥料を有効利用しなければならない